

第 17 号  
昭和61年 6 月 1 日発行  
豊中・サンマテオ  
姉妹都市協会  
事務局 豊中市市長公室  
秘書課858-2009

## 🏆 サンマテオ少年野球チーム来豊！



# 閲覧用

上・交歓の握手をかわすホフマン・サンマテオ市長と下村市長  
下・市役所を表敬訪問した少年野球チーム一行

# THE 14TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST

## 第14回高校英語弁論大会

### 豊中高校の嶋田貴夫君が優勝

当協会主催の英語弁論大会も、今回で14回目を迎え、1月25日(土)午後2時から豊中市立中央公民館で盛大に開催されました。

7校22名(男子3名、女子19名)の出場者で熱弁をふるった結果、豊中高校2年生嶋田貴夫君が優勝、梅花高校2年生安好則子さんが準優勝となりました。

二人は、この夏約1週間サンマテオ市に親善使節として派遣されます。

### ENGLISH SPEECH CONTEST



優勝の嶋田君と準優勝の安好さん

大会の審査員として、デービッド・ボールドウィン氏(金蘭短期大学教授)、ガリー・バック氏(大阪明浄女子短期大学専任講師)、川合隆子氏(当協会嘱託)、宮城弘善氏(大阪府科学教育センター)、住吉保男氏(豊中市教育委員会)の5名で厳正な審査をしていただきました。

「ハイレベルの大会で、順位をつけるのにこまった。全員が入賞者である」との講評がありました。

入賞者は次のとおりです。

順位	氏名	学校名	学年
優勝	嶋田貴夫	豊中高校	2年
準優勝	安好則子	梅花高校	2年
3位	福井美和	少路高校	2年
4位	川村由紀	東豊中高校	2年
5位	田中都	梅花高校	1年



「全員が入賞者です」と講評を下された川合隆子先生



喜びの入賞者——審査員の先生と

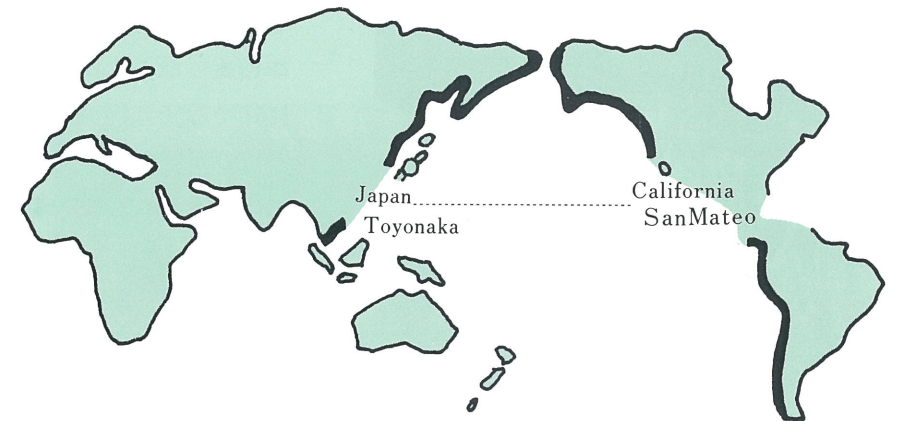
## 広がる 市民交流

ことばや国境の垣根をこえての相互訪問は、ますます親善の輪を深めています。

- 5月7日 メアリー・ハントさん他2名来豊
- 7月18日 ボブ・マー氏一家来豊  
(S.58年少年野球チーム訪米時のホームステイ家庭)
- 7月21日 和泉千雅さん(英語弁論大会優勝者)をサ市へ派遣
- 7月29日



—— ウェルカム・パーティーにて ——  
ホフマン市長夫妻と下村市長夫妻



- 8月18日 サンマテオ少年野球チーム並び
- 8月25日 にサンマテオ市長一行来豊  
(アーロン・ホフマン市長夫妻  
フローレンス・ローズ前市長夫妻  
ジェイク・大岩サ市姉妹都市協会日本委員会会長)
- 9月11日 メアリ・ジョイスさん他1名来豊



記念品の交換をするホフマン市長と福盛会長

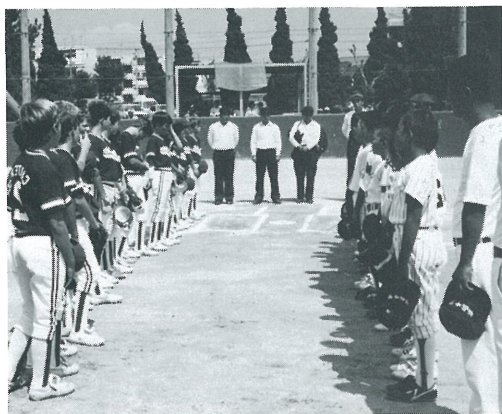
# 歓迎 サンマテオ少年野球チーム 迎

## Welcome SanMateo

サンマテオ市の少年野球チームが豊中市少年野球連盟の招待を受け、8月18日に来豊し、8日間の豊中での生活を楽しみました。

昭和54年に豊中市少年野球チームがサンマテオ市を親善訪問して以来、交流の輪が大きく広がり、相互訪問4回目の今回、友好の絆は一層強まりました。

少年たちは、市内の家庭でホームステイを行ない日本の生活を体験し、風俗・習慣の違いを越えてお互いに理解を深めました。



Play Ball / 豊島公園球場にて

暑さにも負けず、連日の親善野球試合にもがんばりました。夏の陽ざし一杯のグラウンドで元気に試合をし、サンマテオチームの3勝2敗1引分けという成績を残しました。

今回の来豊には、サンマテオ市のアーロン・ホフマン市長一家や前市長のフローレンス・ローズさんご夫妻も同行され、豊中の下村市長や市幹部との懇談や消防本部等の施設を視察されるなど、行政レベルでの



—— ウェルカムパーティーにて ——

交流も見られました。

選手たち一行は8月25日、楽しい思い出を胸一杯に明るい笑顔を残して豊中をあとにしました。この豊中での経験が少年野球だけでなくより多くの交流の魁となり、両市の友好の輪が益々大きく豊かなものに成長することを願います。



—— 消防本部を視察 ——  
ホフマン市長一家

# My SanMateo

—— 思い出はカリフォルニアの

青い空とともに ——



第13回  
高校英語弁論大会  
優勝 和泉千雅

飛行機が、カリフォルニアの海の上をすべるようにして、滑走路に降り立った。まわりには海しか見えない。「なんて広いだろう！」これがアメリカの第一印象だった。日本では今頃朝の4時で、本当なら眠っているところだが、サンフランシスコは朝の11時。眩しいばかりに太陽が輝いていた。『私はもうアメリカにいる。これから初めての体験が始まるんだ！』と思うと、緊張とわくわくとで胸がいっぱいになって眠気なんてふっとんてしまった。

誰も知らない所へ来て、迎えに来て下さる方が私を見つけられなかったらどうしよう、なんて心配していたが、ホスト・ファミリーのパパとママの温かいほほえみに迎えられて私はすっかり安心した。トミタさんという日系2世の方だった。

サンマテオは、いたる所に花がいっぱいの静かできれいな町だった。ホスト・ファミリーのトミタさんの家もかわいい花に囲まれていた。空気が澄みきっているのを感じ

じ、蒸し暑い日本とは全然違う、とても気持ちのいいところ。空が高くてなんて美しいのだろう。カリフォルニアのブルースカイなんて日本でいくら言葉で聞いていても、来てみなくてはわからない快感だ。なにせ1週間の事だし、毎日のスケジュールをきちんと組んだ。

次の日は、近所に住むメイハーさん親子が私を車に乗せて、スタンフォード大学やその周辺を案内して下さいました。お母さんのジュディさんと9才のアネットだ。道路が、10車線もバーンと開けているのには驚いた。それに、どこへ行っても



ヨセテミの巨木のそばで

自転車は見かけなかったのが不思議だった。急に日本が自転車だらけのように思えてきた。こんなに広くては、車がなくては生活できないのだろうと思った。

私は、ジュディさんやアネットとスタンフォード博物館でロダンの彫刻などを見たり、ショッピングしたりして、スタンフォードを巡った。小さいアネットは、元気よ

くびょんぴょんはね回って、お母さんに負けずに私に一生懸命あれこれ説明してくれた。私が少し英語が話せると知って、アネットはべちゃくちゃと容赦なくおしゃべりをぶつけてくるので参ってしまい、私は何度もジュディさんに助けを求めた。けれど、私が慣れないお金で手間取っていたりすると、すぐさま助けてくれるし、小さいながらも彼女は私の立派なガイドさんになってくれました。

それからは毎日、主にトミタさんのご家族との行動だったが、パパに連れて行ってもらった所のうちで忘れられないのは、ヨセミテ自然公園だ。海辺のサンマテオから内陸の山の方へ向かって、車で片道5時間もの道のりだった。その間、道の両側にはハゲた丘が果てしなく続いていた。ヨセミテの山を頂上あたりまで車で登って行き、そこからはヨセミテの他の山々を展望できたが、その大きさの恐ろしい事と言ったらなかった。カメラに納めたくても納まるものではない。私は圧倒されて声も出なかった。高所恐怖症だと思っていた私だが、「こんな素晴らしい眺めは二度と見られないかも知れない」と思いながら、いつまでも巨大な山々に見入っていた。帰りに、ヨセミテの山のおもとの車も通れる大きな穴があるという巨木を見に行っただ。私は、この木の事を小さい頃絵本で知っていただけだったが、真近に見て本当に車でくぐりぬけた時は感動だった。ヨセミテはどこまでも広大で、私はあの時ほど自然の素晴らしさを感じた時はなかった。

もう1つ思い出に残っているのは、やはり何と言ってもサンフランシスコだ。ゴールデンゲートブリッジ、憧れのケーブルカー、私は街を歩き回って楽しんだ。特に、ヒルトンホテルでのあの素敵な夜の事は忘

れられない。サンマテオ少年野球団のジョージさんやブラウンさんなど大勢の方が、ヒルトンホテルの最上階、46階のレストランでパーティーを開いたので、私もお呼ばれたのだった。そこからは、サンフランシスコの街が一望に見渡せた。夕闇と共にみるみるうちに霧がたちこめてきて、街を包み込んでしまった。私は生のバンドの美しい音楽に合わせて、トミタさんのパパやジョージさん達四、五人と代わるがわるダンスをして楽しんだ。そのあと、バンドの中のロマンスグレーといった感じの歌手が、私のためにあの「霧のサンフランシスコ」を歌ってくれたのだった。素敵な声にうっとりしながら、本物の霧のサンフランシスコを見下ろして、私は幸せな気分になっていた。



ホフマン市長さんのご家族と

いよいよ日本に帰るといふ日は、初日に市役所でお会いできなかったサンマテオ市長の家を訪問し、親善使節の役目をやっと果たした。1週間は短かすぎたが、1日1日いろんな事があったので、終わってみるともっと長い間いたようにも思えた。

そして、太陽の眩しい午後、トミタさん達に見送られて、名残り惜しいサンフランシスコに別れを告げた。今度またいつか、なつかしい人達と、カリフォルニアのこのさわやかな空を、ぜひ見に来ようと心に決めながら。

## 基金運用状況

昭和54年に姉妹都市協会の基金制度が発足して7年余りがたちました。

会員の皆様方の深いご理解と暖かいご協力により、基金事業の円滑な運営ができて、心から厚くお礼を申し上げます。

昭和58年度に、初めて高校英語弁論大会優勝者をサンマテオ市に親善使節として派遣をいたしまして、以来毎年、基金規程にもとずき一部基金のとりくずしを行い、基金事業として優勝者の派遣を実施してまいりました。

60年8月には、サンマテオ少年野球チーム並びにサンマテオ市長一行が来豊した際にも、この規程にもとずき基金の活用を行いました。

今後とも基金の有効な運用を図ってまいりたいと存じます。

昭和61年3月31日現在 (単位:円)

寄 付 者	年月日	金 額	利 息				元利合計	
			54~59年度	取崩し金	60年度	取崩し金		利息計
豊 中 ロータリークラブ	55.6.20	1,000,000	475,158	△ 352,283	69,666	△ 156,475	36,066	1,036,066
豊中商工会議所	55.1.23	1,000,000	428,709	△ 266,411	70,387	△ 196,274	36,411	1,036,411
豊中交通安全 自動車協会	55.7.28	1,000,000	382,528	△ 221,301	70,762	△ 195,371	36,618	1,036,618
豊 中 ライオンズクラブ	56.3.31	1,000,000	289,830	△ 166,369	73,988	△ 137,255	60,194	1,060,194
豊 中 南 ロータリークラブ	57.3.25	1,000,000	211,831	△ 21,338	82,979	-	273,472	1,273,472
廣 石 幸 一	57.3.29	1,000,000	205,408	△ 164,040	73,468	-	114,836	1,114,836
豊 中 中 央 ライオンズクラブ	57.4.6	1,000,000	203,997	△ 164,381	74,736	-	114,352	1,114,352
豊 中 南 ライオンズクラブ	57.10.27	1,000,000	161,346	△ 80,511	77,177	-	158,012	1,158,012
豊中青年会議所	58.9.24	1,000,000	79,965	-	70,731	△ 115,065	35,631	1,035,631
豊中大阪国際空港 ロータリークラブ	59.2.17	1,000,000	73,848	-	66,971	△ 73,848	66,971	1,066,971
基金取崩し残金	59.3.26	500,000	19,842	-	34,989	△ 37,392	17,439	1,017,439
合 計		10,500,000	2,532,462	1,436,634	765,854	△ 911,680	950,002	11,450,002

# お知らせ

## 豊中市市制施行 50周年記念行事

## ----- 姉妹都市、 兄弟都市児童画展を開催 -----

今年、豊中市が市制を施行して50周年。この意義深い年を記念して、豊中市とサンマテオ市そして沖縄市（兄弟都市）のこども達の児童画展を11月に開催する計画をしております。

三市のこども達が、絵画の交流を通してそれぞれの市を理解し、そして友情と親善の輪を広げることができれば、本当に50周年にふさわしい事業だと思います。

現在、豊中市と一諸に準備を進めておりますので是非ご期待下さい。



## ----- ジェーン・パウエル氏が サンマテオ市長に就任 -----

1985年12月2日付で、夏に来豊したアロン・ホフマン市長に代り、ジェーン・パウエル氏がサンマテオ市長に選出されました。

新市長も是非豊中市に来て頂きたいと思っています。

尚、新メンバーは次のとおりです。

Mayor	JANE M. POWELL
Deputy Mayor	HUGH A. WAYNE
Council Member	JANE BAKER
〃	FLORENCE P. RHOADS
〃	PAUL J. GUMBINGER

## ----- 今夏、サ市 ジャズダンスチーム来豊 -----

7月8日から13日までの間、サンマテオ市から13才～16才のジャズダンスチームが文化交流使節として来豊することになりました。

一行は、豊中日舞協会の会員の皆さんの家に滞在し、市内の高校生や市民とダンスを通して交流をしたり、奈良や大阪見物で日本の夏を楽しむことにしております。

この少女達の来豊で、又一層両市の市民交流の輪が広がるものと期待しております。



来豊予定のジャズダンスチームの皆さん